

お茶の水女子大学が 東京都女性活躍推進大賞 を受賞しました！！

平成30年度 東京都女性活躍推進大賞 受賞者	
大賞	
団体・個人名	取組概要・効果
産業分野 コネクシオ株式会社 5,255名(2,647名)	【男女がともに活躍できる職場を目指し、人財育成・働き方改善を実施】 ○ 女性リーダーの登用や育成のため、育成塾や研修を実施 (女性管理職比率:5年間で4.5%→9.3%に倍増) ○ 男性の育児休業取得を推進。制度のほか、社内で蓄積された育児のノウハウを記載したガイドブックを作成 (男性の育児休業取得率は63.0%) ○ 休暇取得推進やテレワーク導入など、全社員のライフ・ワーク・バランス、就業継続支援を推進
医療・福祉分野 医療法人社団 東山会 426名(358名) <small>※調布東山病院など3医療機関を運営</small>	【適正な業務量の設定による医師の働き方改革を中心とした、トップマネジメントによる働きやすい環境作りの推進】 ○ 医師について基本勤務ルール(5日勤務、公休日呼び出しなし等)や、入院患者担当数を設定するなど、医師の働き方改革を推進 ○ 女性医師比率が10年間で約30%から約40%に向上 ○ 時間外労働時間や休暇取得率をトップマネジメント会議で共有し、業務改善や人員構成の変更を実施。ドック健診センターで残業ゼロ達成

「徽音塾」も
受賞理由！

教育分野 国立大学法人 お茶の水女子大学 481名(269名)	【研究者支援、社会人女性を対象とした生涯学習講座により、女性リーダーを育成】 ○ 研究が中断した女性研究者の復帰を支援するため、特別研究員として最長2年間雇用する「みがかずば研究員支援制度」(独自制度)を実施。 <small>「研究員補助者支援制度」「研究者一時支援制度」も展開</small> ○ 企業等で管理職を目指す社会人女性を対象とした生涯学習講座「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾(きいんじゅく)」を開講 ○ 女性教員比率は50%を超えており、国立大学ではトップ
--	---

個人 岩田 敏江氏 <small>(いわた としえ)</small> 瑞穂町社会教育施設 耕心館ボランティア代表	【施設運営のボランティア活動を通じ、町の活性化に貢献】 ○ 瑞穂町の施設運営ボランティアとして、「つるし飾り」を製作・展示 ○ つるし飾り展は、町を代表するイベントに成長 ○ 一介の主婦からボランティアを開始し、17年間活動を継続 現在はボランティアの代表を務める。
---	--

詳しくはコチラ

- ◆ お茶の水女子大学HP
「平成30年度東京都女性活躍推進大賞を受賞しました」
<http://www.ocha.ac.jp/news/20181225.html>
- ◆ 「東京都女性活躍推進大賞」
<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/jokatsu/taisho.html>